



公立大学法人富山県立大学

News Release

事務局教務課

【本発表に関すること】

担当：情報研究係 垣内 電話：0766-56-7500（内線）229

【本件に関すること】

担当：電子・情報工学科 准教授 石坂圭吾

電話：0766-56-7500（内線）489

電子メール：ishisaka@pu-toyama.ac.jp

平成30年7月30日

2018 年電磁波工学研究の進歩に関する国際会議および 市民講座の開催

PIERS 2018 Toyama 実行委員会(委員長：中央大学 小林一哉教授、会場・催事担当幹事：富山県立大学 石坂圭吾准教授)は、一般社団法人電子情報通信学会および電磁波工学アカデミー、日本学術会議が共同主催する「2018 年電磁波工学研究の進歩に関する国際会議 (PIERS 2018 Toyama)」を、以下のように開催します。

この2018 年電磁波工学研究の進歩に関する国際会議 (PIERS 2018 Toyama) では、『マイクロ波・光波コミュニティの協働：富山から世界への最先端の研究成果の発信』をメインテーマに光・電磁波分野に関する基礎理論から応用・関連技術に至る最新の研究発表と討論が行なわれることになっております。PIERS 2018 Toyama が富山市で開催されるのを機会に、光・電磁波・情報通信技術分野における世界各国の著名な研究者が富山に集結します。これは、富山から世界に向けて当該分野における最先端の研究成果が発信されることを意味し、国内外における情報通信技術の飛躍的発展につながります。なお、本会議には50カ国以上の国と地域から1,400人近くの参加者が見込まれています。

また、一般市民を対象とした市民公開講座として、8月5日(日)に「光・電磁波関連技術の現状と将来 ―電磁波技術がもたらす未来―」が開催されます。

<PIERS 2018 Toyama の概要>

(1) 国際会議の名称

英文：2018 Progress In Electromagnetics Research Symposium

和文：2018 年電磁波工学研究の進歩に関する国際会議

略称：PIERS 2018 Toyama

(2) 日時：平成30年8月1日(水)～平成30年8月4日(土)

8月1日(水)16:00～16:40において開会式が開催され、石井県知事、渡辺日本学術会議副会長、石塚富山県立大学長らのご登壇されます。

(3) 場所：富山国際会議場、ANA クラウンプラザホテル富山

(4) 主催・共催・後援

主催：一般社団法人電子情報通信学会

共同主催：電磁波工学アカデミー、日本学術会議

技術共催：米国電気電子学会 (IEEE)、

米国電気電子学会 (IEEE) アンテナ・伝搬ソサイエティ、

米国電気電子学会 (IEEE) 地球科学とリモートセンシングソサイエティ、

米国電気電子学会 (IEEE) 地球科学とリモートセンシングソサイエティ

全日本ジョイントチャプター

協賛：電気・電子情報学術振興財団、電気学会、日本リモートセンシング学会、レーザー学会

後援：総務省、観光庁、日本政府観光局、富山県、
富山市、富山コンベンションビューロー、富山大学、富山県立大学、
富山県教育委員会

(5) 内容：

PIERS 2018 Toyama では、光・電磁波分野に関する基礎理論から応用・関連技術に至る最新の研究成果の発表と情報交換を行います。研究分野としては、計算電磁気学、電磁環境、散乱・回折、電磁界理論、境界値問題、数学的解析理論、ナノ電磁気学、生体電磁気学、メタマテリアル、プラズモニクス、複雑媒質、光学、フォトニクス、テラヘルツ技術、アンテナ、マイクロ波、共振器、フィルタ、パワーエレクトロニクス、超伝導デバイス、無線電力伝送、リモートセンシング、伝搬、逆問題、イメージング、レーダ、センシング、無線通信、信号処理など、多岐に渡っています。※詳細は別添の日程表参照

<PIERS 2018 Toyama 市民講座の概要>

(1) 市民講座の名称

「光・電磁波関連技術の現状と将来 ―電磁波技術がもたらす未来―」

(2) 日時：平成 30 年 8 月 5 日(日) 10:00～12:00

(3) 場所：富山国際会議場 2F

(4) 主催・共催・後援

主催：PIERS 2018 Toyama 実行委員会

後援：富山県、富山市、富山コンベンションビューロー、
富山大学、富山県立大学、富山県教育委員会

(5) 内容：

光・電磁波に関連した研究者 3 名をお呼びして、最先端の研究成果や将来の電磁波技術についてわかりやすく説明していただきます。(詳細は別添チラシ参照)

(6) 対象：高校生・大学生・一般